

## A-29. ゆううつ

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「気分がしずんでしまうことはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、41.3%であった。カッパ係数は、0.022とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、49.6%であった。また、福祉職員の回答をみてみると「ある」という回答が多く、61.2%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ6割が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答で「ある」ととらえられていた。

ゆううつ (N=121、カッパ係数=0.022、n. s.、単純一致数の割合=41.3%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	15 12.4%	8 6.6%	37 30.6%	60 49.6%
	どちらとも いえない	1 0.8%		2 1.7%	3 2.5%
	ある	9 7.4%	14 11.6%	35 28.9%	58 47.9%
合計		25 20.7%	22 18.2%	74 61.2%	121 100.0%

### A-30. 支援職員との会話

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「支援をしてくれる職員さんと、もっと話をしたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、29.8%であった。カッパ係数は、0.031とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、71.1%であった。また、福祉職員の回答をみても「ある」という回答が多く、66.1%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ4分の3が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割以上が福祉職員回答では「ある」と答えられていた。

支援職員との会話 (N=121、カッパ係数=0.031、n.s.、単純一致数の割合=29.8%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	15 12.4%	17 14.0%	54 44.6%	86 71.1%
	どちらとも いえない	2 1.7%		5 4.1%	7 5.8%
	ある	2 1.7%	5 4.1%	21 17.4%	28 23.1%
合計		19 15.7%	22 18.2%	80 66.1%	121 100.0%

### A-31. 職員以外の人との会話

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「職員さん以外の人と、もっと話をしたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、24.8%であった。カッパ係数は、0.0であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、71.1%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、66.9%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ7割が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割強が福祉職員回答では「ある」ととらえられていた。

職員以外の人との会話 (N=121、カッパ係数=0.0、n.s.、単純一致数の割合=24.8%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	11 9.1%	18 14.9%	57 47.1%	86 71.1%
	どちらとも いえない	3 2.5%	1 0.8%	6 5.0%	10 8.3%
	ある	3 2.5%	4 3.3%	18 14.9%	25 20.7%
合計		17 14.0%	23 19.0%	81 66.9%	121 100.0%

## A-32. 相談事

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「何か相談したいことについて、誰かにもっと相談したいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、27.5%であった。カッパ係数は、0.005とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、80.8%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、69.2%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ7割が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ7割が福祉職員回答では「ある」ととらえられていた。

相談事 (N=120、カッパ係数=0.005、n. s.、単純一致数の割合=27.5%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	18 15.0%	13 10.8%	66 55.0%	97 80.0%
	どちらとも いえない			2 1.7%	2 1.7%
	ある	4 3.3%	2 1.7%	15 12.5%	21 17.5%
合計		22 18.3%	15 12.5%	83 69.2%	120 100.0%

### A-33. 意思伝達

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「伝えたいことがなかなか伝えられなくて、困ると感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、52.9%であった。カッパ係数は、0.171であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、66.1%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、47.1%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ6割強が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの5割が福祉職員回答と一致していた。

意思伝達 (N=121、カッパ係数=0.171、 $p < .05$ 、単純一致数の割合=52.9%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	40 33.1%	10 8.3%	30 24.8%	80 66.1%
	どちらとも いえない	1 0.8%		3 2.5%	4 3.3%
	ある	11 9.1%	2 1.7%	24 19.8%	37 30.6%
合計		52 43.0%	12 9.9%	57 47.1%	121 100.0%

#### A-34. 趣味または娯楽

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「趣味または娯楽といった活動を、今とくらべて、もっとしたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、47.1%であった。カッパ係数は、0.081とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、68.6%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答が多く、46.3%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの4割強が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ5割が福祉職員回答と一致していた。

趣味または娯楽 (N=121、カッパ係数=0.081、n.s.、単純一致数の割合=47.1%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	41 33.9%	15 12.4%	27 22.3%	83 68.6%
	どちらとも いえない	3 2.5%			3 2.5%
	ある	12 9.9%	7 5.8%	16 13.2%	35 28.9%
合計		56 46.3%	22 18.2%	43 35.5%	121 100.0%

### A-35. 手伝いや簡単な作業

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「手伝いや、かんたんな作業といったことを、今とくらべて、もっとしたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、63.6%であった。カッパ係数は、0.193であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、72.7%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答が多く68.6%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちおよそ5割が福祉職員の回答では「ない」ととらえられていた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ4分の3が福祉職員回答と一致していた。

#### 手伝いや簡単な作業

(N=121、カッパ係数=0.193、 $p < .01$ 、単純一致数の割合=63.6%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	66 54.5%	12 9.9%	10 8.3%	88 72.7%
	どちらとも いえない	2 1.7%		3 2.5%	5 4.1%
	ある	15 12.4%	2 1.7%	11 9.1%	28 23.1%
合計		83 68.6%	14 11.6%	24 19.8%	121 100.0%

### A-36. クラブなどの集まり

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「クラブや自治会などの集まりに、今とくらべて、もっと参加したいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、57.9%であった。カッパ係数は、0.197であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、77.7%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答が多く、54.5%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの4割強が福祉職員の回答と一致していた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちのおよそ6割が福祉職員回答と一致していた。

#### クラブなどの集まり

(N=121、カッパ係数=0.197、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=57.9%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	58 47.9%	20 16.5%	16 13.2%	94 77.7%
	どちらとも いえない		1 0.8%	1 0.8%	2 1.7%
	ある	8 6.6%	6 5.0%	11 9.1%	25 20.7%
合計		66 54.5%	27 22.3%	28 23.1%	121 100.0%



### A-37. 社会の主な出来事

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「社会の主な出来事を、今とくらべて、もっと知りたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、34.7%であった。カッパ係数は、0.050とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、64.5%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、40.5%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちの4割強が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの4割弱が福祉職員回答では「ある」ととらえられていた。

社会の主な出来事 (N=121、カッパ係数=0.050、n.s.、単純一致数の割合=34.7%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	23 19.0%	26 21.5%	29 24.0%	78 64.5%
	どちらとも いえない		1 0.8%	2 1.7%	3 2.5%
	ある	9 7.4%	13 10.7%	18 14.9%	40 33.1%
合計		32 26.4%	40 33.1%	49 40.5%	121 100.0%

## A-38. 地域情報

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「あなたの住んでいる地域の行事や出来事を、今とくらべて、もっと知りたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、30.6%であった。カッパ係数は、0.0であった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、74.4%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ない」という回答がわずかに「ある」という回答を上回り、34.7%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ4割が福祉職員回答では「ない」ととらえられていた。高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの3分の1が福祉職員回答と一致していた。

地域情報 (N=121、カッパ係数=0.0、n.s.、単純一致数の割合=30.6%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	30 24.8%	27 22.3%	33 27.3%	90 74.4%
	どちらとも いえない	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	3 2.5%
	ある	11 9.1%	11 9.1%	6 5.0%	28 23.1%
合計		42 34.7%	39 32.2%	40 33.1%	121 100.0%

### A-39. 医療・保健・福祉サービスの情報

高齢者の感じているニーズについて、高齢者本人と福祉職員に、「医療・保健・福祉のサービスについて、今とくらべて、もっと知りたいと感じることはありますか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、28.9%であった。カッパ係数は、0.010とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「ない」という回答が多く、66.1%であった。また、福祉職員の回答をみると、「ある」という回答が多く、66.1%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「ある」をみると、そのうちのおよそ7割弱が福祉職員の回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「ない」をみると、そのうちの6割以上が福祉職員回答では「ある」と認識されていた。

#### 医療・保健・福祉サービスの情報

(N=121、カッパ係数=0.010、n.s.、単純一致数の割合=28.9%)

		福祉職員回答			合計
		ない	どちらとも いえない	ある	
高齢者回答	ない	9 7.4%	18 14.9%	53 43.8%	80 66.1%
	どちらとも いえない		2 1.7%	3 2.5%	5 4.1%
	ある	5 4.1%	7 5.8%	24 19.8%	36 29.8%
合計		14 11.6%	27 22.3%	80 66.1%	121 100.0%

#### A-40. 家族との会話の希望

「ご家族がいらっしゃる方におたずねします。ご家族と、もっと話をしたいと感じることはありますか」という質問に対して、「1 かなりある」「2 少しある」「3 どちらともいえない」「4 あまりない」「5 ほとんどない」の5段階の回答選択肢と「6 家族はいない」の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「ほとんどない」が32.2%で最も多く、次に「かなりある」が19.0%、「あまりない」が16.5%、「少しある」が11.6%、「どちらともいえない」が1.7%であり、「家族はいない」と回答された入居者は23人（19.0%）であった。

「家族はいない」と答えた入居者を除くと、残りの6割以上の入居者が否定的回答を選択していた。

#### 家族との会話希望 (N=121)

	かなりある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ほとんどない	家族はいない	合計
人	23	14	2	20	39	23	121
%	19.0	11.6	1.7	16.5	32.2	19.0	100.0

#### A-41. もとの住居への帰宅希望

「こちらに来る前の、あなたが住んでいた家に帰りたいと感じることはありますか」という質問に対して、「1 かなりある」「2 少しある」「3 どちらともいえない」「4 あまりない」「5 ほとんどない」の5段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「ほとんどない」が57.0%で最も多く、次に「かなりある」が16.5%、「少しある」が11.6%、「あまりない」が9.9%、「どちらともいえない」が5.0%であった。

もとの住居への帰宅希望について、入居者の6割以上が否定的な回答を示した。

#### もとの住居への帰宅希望 (N=121)

	かなりある	少しある	どちらともいえない	あまりない	ほとんどない	合計
人	20	14	6	12	69	121
%	16.5	11.6	5.0	9.9	57.0	100.0

#### A-42. 頼りにしている人物（自由回答）

「あなたが今、一番頼りにしている人を教えてください」という質問に対して、入居者に自由に回答していただいた。その結果、子ども（息子、娘、または子どもと回答）と答えた人が49.4%で最も多く、次に施設職員（寮母、職員、施設長と回答）と答えた人が9.7%、きょうだい（兄、弟、姉、妹）と答えた人が8.6%、同施設の入居者と答えた人が5.3%であった。

頼りにしている人（N=93）

	こども （息子、娘、 子ども）	施設職員 （寮母、職員、 施設長）	きょうだい （兄、弟、 姉、妹）	同施設の 入居者	その他	合計
人	46	9	8	5	25	93
%	49.4	9.7	8.6	5.3	26.8	100.0

#### A-43. 生活のなかでの困りごとや問題点の自由記述

「ふだんの生活のなかで、何か困っている事や、問題があれば、教えてください」という質問に対して、入居者に自由回答で尋ねた。その結果、以下のような意見が利用者から寄せられた。

##### 体に関すること

- ・歩くのが困難である（軽費老人ホーム）
- ・自由に歩きたい。（特別養護老人ホーム）
- ・バスの乗り降りが不自由である。（軽費老人ホーム）
- ・しゃべることができない。（特別養護老人ホーム）
- ・体が悪くてできないことが増えた。（3人）（特別養護老人ホーム）
- ・給食をたべに行くのに目がみえにくい。（軽費老人ホーム）
- ・行きたいときに行けるような元気な体になりたい。（軽費老人ホーム）
- ・体が不自由である。（軽費老人ホーム）
- ・薬が効かない。（特別養護老人ホーム）
- ・リハビリで体を早く治したい。（特別養護老人ホーム）
- ・リハビリをもっとしたい。（特別養護老人ホーム）

### 設備に関すること

- ・トイレの場所が遠い。（特別養護老人ホーム）
- ・施設内に段差があって移動するのに困る。（軽費老人ホーム）
- ・部屋の自分のスペースがかなり狭い。（特別養護老人ホーム）
- ・ベランダに行きたいが段差で行けない。（特別養護老人ホーム）

### 金銭に関すること

- ・金がない。（3人）（特別養護老人ホーム）
- ・お金がほしい。（特別養護老人ホーム）
- ・お金が使いたいときに使えない。（特別養護老人ホーム）

### 他の入居者とのトラブルに関すること

- ・前にいた入居者が水を出しっぱなしにすることが多かった。（軽費老人ホーム）
- ・他の入所者にいやみや意地悪されて嫌な気分になる。（特別養護老人ホーム）
- ・「いけず」をされることがある。（特別養護老人ホーム）

### その他

- ・風呂のときに少し遅れただけで寮母さんにおこられる。（軽費老人ホーム）
- ・車いすでもっと外に行けるように付き添いの人がいればいいのに。（特別養護老人ホーム）
- ・したいと思っていることがなかなかできない。（特別養護老人ホーム）
- ・庭に花を植えたいが植えることができない。（軽費老人ホーム）
- ・B型にいたので給食に行きたいが自炊しなければならない。（軽費老人ホーム）
- ・子どもがわがままを言う。（特別養護老人ホーム）
- ・食事で好き嫌いが多くて困る。（特別養護老人ホーム）
- ・手紙を書いてもらいたい。（特別養護老人ホーム）
- ・家族に来てもらいたい。（特別養護老人ホーム）
- ・死後の墓を建ててもらいたい。（特別養護老人ホーム）
- ・困り事はいろいろあるが忘れるように努力している。（特別養護老人ホーム）
- ・死んだらどうなるか不安だ。（2人）（特別養護老人ホーム）
- ・病院に行くのに付き添いがあればいいのに。（特別養護老人ホーム）

## IV-B ADLに関する高齢者と福祉職員の認識の関係

### A-1. ADLの食事

高齢者のADLについて、高齢者と福祉職員に、「食事をするのに手助けが必要ですか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、72.5%であった。カッパ係数は、0.088とかなり低かった。

高齢者の回答をみると、「必要なく自分ですべてできる」という回答がかなり多く、95.8%であった。また、福祉職員の回答においても「必要なく自分ですべてできる」という回答が多く、71.7%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「必要なく自分ですべてできる」をみると、そのうちのおよそ4分の3が福祉職員回答と一致していた。また、高齢者回答の「一部手助けが必要」をみると、そのうちの6割が福祉職員回答と一致していた。

ADLの食事 (N=120、カッパ係数=0.088、n.s.、単純一致数の割合=72.5%)

		福祉職員回答		合計
		自分でできる	一部援助	
高齢者回答	自分でできる	84 70.0%	31 25.8%	115 95.8%
	一部援助	2 1.7%	3 2.5%	5 4.2%
合計		86 71.7%	34 28.3%	120 100.0%

## B-2. ADLの洗顔

高齢者のADLについて、高齢者と福祉職員に、「顔を洗うのに手助けが必要ですか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、75.8%であった。カッパ係数は、0.314であった。

高齢者の回答をみると、「必要なく自分ですべてできる」という回答がかなり多く、90.8%であった。また、福祉職員の回答においても「必要なく自分ですべてできる」という回答が多く、69.2%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「一部手助けが必要」をみると、そのうちの9割近くが福祉職員回答と一致していた。高齢者回答の「全面的に手助けが必要」をみると、福祉職員回答との一致は3分の2となっていた。

ADLの洗顔 (N=120、カッパ係数=0.314、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=75.8%)

		福祉職員回答			合計
		自分でできる	一部援助	全面援助	
高齢者回答	自分でできる	82 68.3%	26 21.7%	1 0.8%	109 90.8%
	一部援助	1 0.8%	7 5.8%		8 6.7%
	全面援助		1 0.8%	2 1.7%	3 2.5%
合計		83 69.2%	34 28.3%	3 2.5%	120 100.0%



### B-3. ADLのトイレ

高齢者のADLについて、高齢者と福祉職員に、「トイレで用を足すのにのに手助けが必要ですか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、82.5%であった。カッパ係数は、0.594と比較的高かった。

高齢者の回答をみると、「必要なく自分ですべてできる」という回答が多く、79.2%であった。また、福祉職員の回答においても「必要なく自分ですべてできる」という回答が多く、67.5%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「全面的に手助けが必要」をみると、福祉職員回答とすべて一致していた。しかし、高齢者回答の「一部手助けが必要」をみると、福祉職員回答との一致は4割あまりにとどまっていた。

ADLのトイレ (N=120、カッパ係数=0.594、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=82.5%)

		福祉職員回答			合計
		自分でできる	一部援助	全面援助	
高齢者回答	自分でできる	79 65.8%	13 10.8%	3 2.5%	95 79.2%
	一部援助	2 1.7%	4 3.3%	3 2.5%	9 7.5%
	全面援助			16 13.3%	16 13.3%
合計		81 67.5%	17 14.2%	22 18.3%	120 100.0%

#### B-4. ADLの入浴

高齢者のADLについて、高齢者と福祉職員に、「お風呂に入るのに手助けが必要ですか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、69.7%であった。カッパ係数は、0.551と比較的高かった。

高齢者の回答をみると、「必要なく自分ですべてできる」という回答が多く、37.8%であった。福祉職員の回答をみると、「一部手助けが必要」という回答が多く、45.4%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「一部手助けが必要」をみると、そのうちのおよそ4分の3が福祉職員回答と一致していた。高齢者回答の「全面的に手助けが必要」をみると、福祉職員回答との一致は6割あまりであった。

ADLの入浴 (N=119、カッパ係数=0.551、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=69.7%)

		福祉職員回答			合計
		自分でできる	一部援助	全面援助	
高齢者回答	自分でできる	32 26.9%	13 10.9%		45 37.8%
	一部援助	3 2.5%	26 21.8%	5 4.2%	34 28.6%
	全面援助		15 12.6%	25 21.0%	40 33.6%
合計		35 29.4%	54 45.4%	30 25.2%	119 100.0%

## B-5. ADLの歩行

高齢者のADLについて、高齢者と福祉職員に、「歩くのに手助けが必要ですか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、70.6%であった。カッパ係数は、0.541と比較的高かった。

高齢者の回答をみると、「全面的に手助けが必要」という回答が多く、42.0%であった。福祉職員の回答をみると、「必要なく自分ですべてできる」という回答が多く、46.2%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「必要なく自分ですべてできる」をみると、そのうちの8割以上が福祉職員回答と一致していた。しかし、高齢者回答の「一部手助けが必要」をみると、福祉職員回答との一致はおよそ3割にとどまっていた。

ADLの歩行 (N=119、カッパ係数=0.541、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=70.6%)

		福祉職員回答			合計
		自分でできる	一部援助	全面援助	
高齢者回答	自分でできる	39 32.8%	7 5.9%		46 38.7%
	一部援助	14 11.8%	7 5.9%	2 1.7%	23 19.3%
	全面援助	2 1.7%	10 8.4%	38 31.9%	50 42.0%
合計		55 46.2%	24 20.2%	40 33.6%	119 100.0%

## B-6. ADLの階段昇降

高齢者のADLについて、高齢者と福祉職員に、「階段の昇り降りに手助けが必要ですか」と尋ねた。その結果、単純一致数の割合は、73.3%であった。カッパ係数は、0.495と比較的高かった。

高齢者の回答をみると、「全面的に手助けが必要」という回答が多く、67.5%であった。また、福祉職員の回答においても「全面的に手助けが必要」という回答が多く、60.0%であった。

高齢者と福祉職員の認識の関係について、高齢者回答の「全面的に手助けが必要」をみると、そのうちのおよそ8割が福祉職員回答と一致していた。高齢者回答の「必要なく自分ですべてできる」をみると、福祉職員回答との一致は半数あまりであった。

### ADLの階段昇降

(N=120、カッパ係数=0.495、 $p < .001$ 、単純一致数の割合=73.3%)

		福祉職員回答			合計
		自分でできる	一部援助	全面援助	
高齢者回答	自分でできる	10 8.3%	5 4.2%	3 2.5%	18 15.0%
	一部援助	6 5.0%	12 10.0%	3 2.5%	21 17.5%
	全面援助	1 0.8%	14 11.7%	66 55.0%	81 67.5%
合計		17 14.2%	31 25.8%	72 60.0%	120 100.0%